

【 小柳 】ゼミ

専門分野 研究テーマ	ゲーム分析(スポーツの事象やプレーを数値化して統計的に処理していく手法) コーチング(ゲーム分析のような数量的な研究を行うこともあれば、運動のコツを探る質的研究を行うこともあります。また、部活動の実践研究を行っています。) ラグビー競技
ゼミの目標	社会に出て一番必要な能力は「コミュニケーション」力だと思います。 皆さんは、初対面の人たちの前で10分間のフリートークをすることはできますか？ 小柳ゼミは、とにかく、人前で話してもらった時間を多く設定します。 話す力、そして仲間と議論する力を伸ばしてみませんか？
ゼミの方針	何事に対しても、情熱と勤勉さが重要だと考えています。 特に何かに関して「熱い」人間は、大歓迎。 学生時代は、失敗が許される最後の場だと思っています。 また、大学生は社会に羽ばたく前の最後の準備期間でもあります。 そのような意味でゼミ担当教員として、「社会に出て活躍できる人間性」となるため、様々なことに口うるさく指導することもありますので、覚悟を持ってください。 共に学び、共にチャレンジしていけるゼミ。そんなゼミを共に作りましょう。
卒業までの スケジュール	【3年次前期】 読書を習慣づける 1冊の本を最大限に活かす術を身につける-様々なアウトプットを実践する- 【3年次後期】 ゲーム分析を学ぶ 自分のプレーを分析する。客観的に自分のプレーを分析し、競技力向上を図る 【4年次前期】 先行研究探し 卒業論文テーマ設定 テーマ発表会 【4年次夏季休業期】 データ収集 データ分析 【4年次後期】 論文作成

授業時間外の 活動	私自身、社会人や代表チームでアナリストとして活動してきました。 まだまだ、具体的な活動を展開できていませんが、種目を問わずスポーツアナリストを養成する勉強会を実施していきたいと思っています。
卒業論文の テーマ	・ラグビー競技におけるターンオーバーを誘発する状況-タックル後のコンテスト局面に着目して- ・バレーボールのスパイク動作に関する質的研究-強く打撃するためのスパイク動作- ・投球動作における身体の使い方と球速の関係性-上肢と下肢の重要性- ・ラグビー競技のタックル成功に関係する要因のゲーム分析-愛知学院大学ラグビー部の事例から- ・フットサルチームが新しいスポンサーを獲得するための知見 ・ICTの活用が技能向上に与える影響-投げる動作に関して-
ゼミ風景	 <p>2020年3・4年ゼミ交流会風景</p>
その他 (ホームページ、SNS、 オフィスアワーなど)	※面識のない学生で小柳ゼミを希望する際は、一度顔合わせを行います。 オフィスアワーやPCメールにて、事前のアポ取りをお願いします。 オフィスアワー：火曜日1限 その他、質問や相談があれば、koyanagi@dpc.agu.ac.jpまで連絡ください。